



ロータリー財団ハンドブック



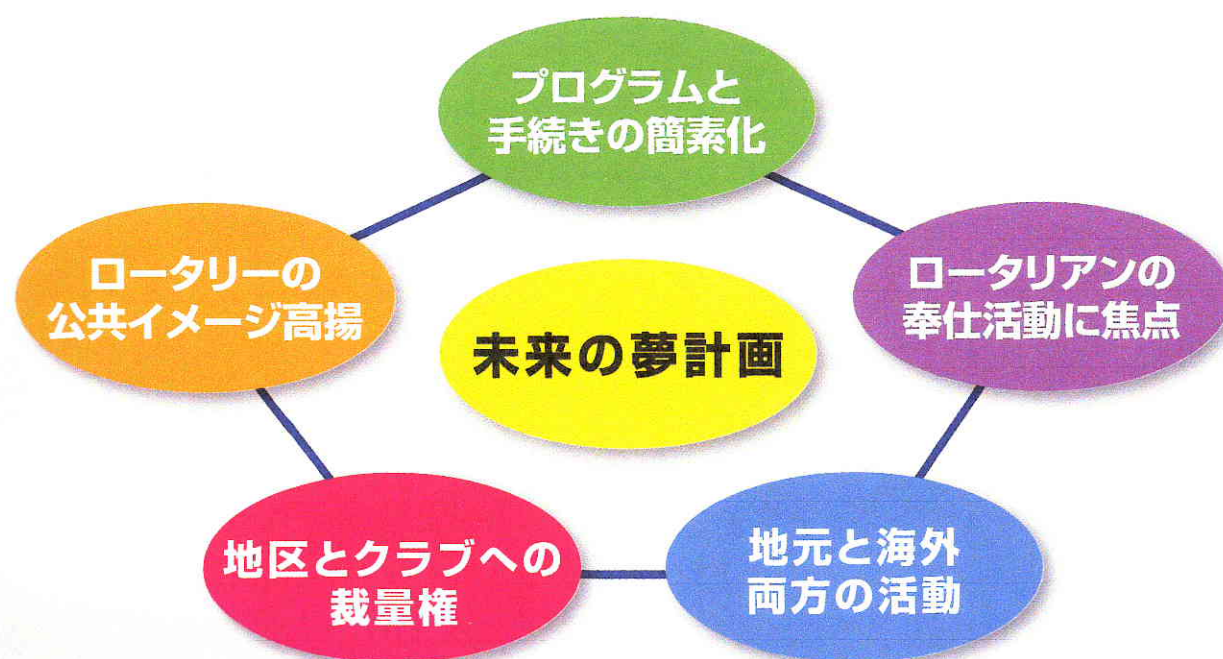
国際ロータリー第2720地区

1. ロータリー財団の未来の夢計画について

これまでのロータリー財団は、プログラムの数が多く、使い勝手が悪く、複雑で分かりにくいという意見がありました。そこでロータリー財団が2017年に100周年を迎えるにあたって、ロータリー財団の在り方を再検討し、2013～2014年度から未来の夢計画として新たなロータリー財団のシステムがスタートしました。

2. 未来の夢計画の目的

1. 財団の使命に沿って、プログラムと運営を簡素化すること。
2. ロータリアンが関心を寄せている世界の優先的ニーズに取り組むことによって、最大の成果が期待できる**ロータリアンの奉仕活動に焦点を絞ること**。
3. 世界的目標と地元の目標の両方を果たすための資金を提供すること。
4. **意思決定権**をさらに**地区とクラブに移行**することによって、地区レベルとクラブレベルでロータリー財団が自分たちのものであるという自覚を高めること。
5. ロータリー財団の活動に対する理解を深め、**ロータリーの公共イメージを高めること**。



3.ロータリー財団の使命について

ロータリアンが健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。



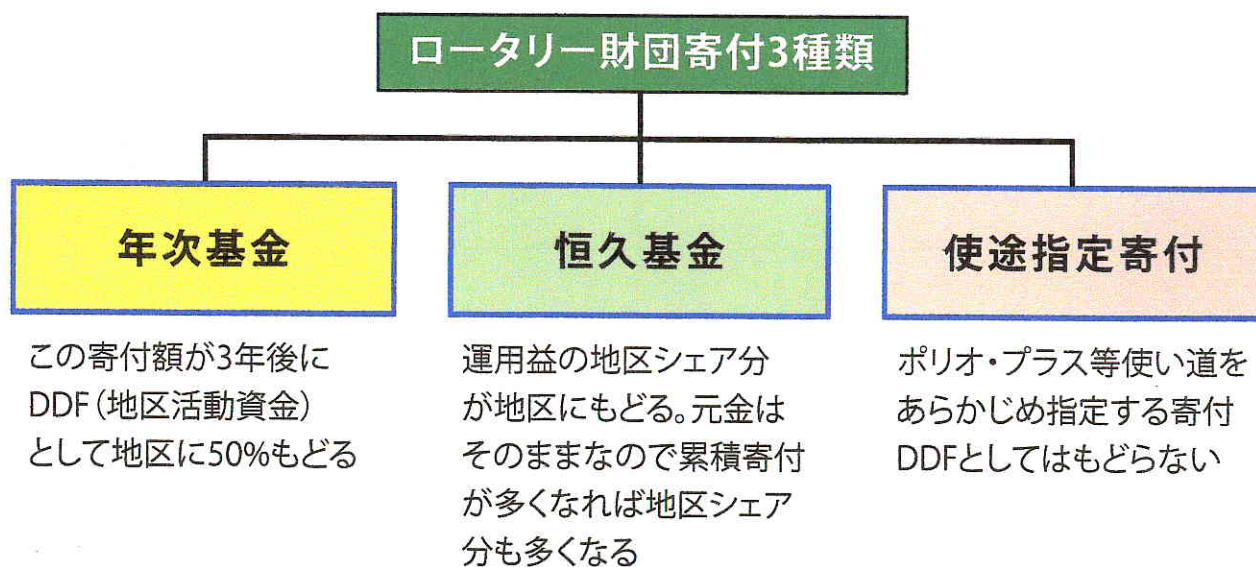
4.ロータリー財団の基礎知識

1.ロータリー財団への寄付について

ロータリー財団への寄付の種類は3種類です。寄付をする時にどの基金に寄付をするのかクラブ内でも議論しましょう。

主な寄付は次の通りです。

- ①年次基金 ②恒久基金 ③使途指定寄付



5. 地区補助金とグローバル補助金のしくみ

1. 地区補助金 (DG)

3年前の年次基金と恒久基金の運用益を足したその50%がDDF(地区財団活動資金)として、地区にその配分が任されます。このDDFの金額の50%を上限として、地区補助金(DG)に使うことができます。(前年度からの繰越金は含まれません。)

2. グローバル補助金 (GG)

DDFより地区補助金分を差し引いた金額に、前年度からの繰越金を足して、さらにそこからポリオ・プラスへの寄付と平和センターへの寄付を差し引いた金額がグローバル補助金の予算額となります。

図式にすると、以下のようになります。

ロータリー財団の補助金システム

